



【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

※週間騰落率は過去5営業日の騰落率

	直近値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	16年末株価
NYダウ	21,797.79	13.01	0.06	-0.68	10.30	19,762.60
NASDAQ	6,360.19	-37.68	-0.59	-1.07	18.15	5,383.12
日経225	19,274.82	-121.70	-0.63	-2.12	0.84	19,114.37
上海総合	3,365.24	-0.25	-0.01	-0.06	8.43	3,103.64
滬深300 (CSI300)	3,825.99	-3.88	-0.10	-0.12	15.59	3,310.08
ハンセン	27,668.47	145.55	0.53	-1.02	25.76	22,000.56
H株	11,149.64	50.92	0.46	-1.20	18.68	9,394.87

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は1.0%安と4週ぶりに反落、上海総合指数は0.1%安

香港市場ではハンセン指数が週間で1.0%安と4週ぶりに反落。北朝鮮が3日に核実験を強行したことで北朝鮮情勢を巡る地政学リスクの高まりが相場の重しとなった。ハンセン指数は7日に終値で約2週間ぶりに27500ポイント台まで下落したが、8日には人民元高の進行や本土からの資金流入を背景に反発した。本土市場では上海総合指数が週間で0.1%安と小幅ながら4週ぶりに反落。週前半は堅調な値動きとなったが、上海総合指数が節目の3400ポイントに近づくにつれ利益確定売りに押される展開となった。

今週の展望:香港市場はしっかりの展開か、米ドル安続けば相場の支援材料に

香港市場はしっかりの展開か。北朝鮮を巡る地政学リスクは懸念材料としてくすぶり続ける公算が大きい。足元のドルインデックスの下落を受けて資金流入期待が高まっていることは香港市場にとってプラス材料。14日に発表される8月の中国の主要経済指標で堅調な内容が確認できれば相場を支える要因となりそうだ。一方、本土市場もしっかりの展開が見込まれる。10月の共産党大会までは中国政府が相場の安定を図るとの期待を背景に下げにくい相場が続く公算。足元で人民元高が進んでいることも追い風といえる。

先週のハンセン騰落ランキング

▼値上がり

	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 恒基兆業地産(00012)	52.85	8.41
2 新世界発展(00017)	11.22	4.28
3 新鴻基地産(00016)	133.70	3.08
4 サズ・チャイ(01928)	37.55	2.88
5 恒安国際集団(01044)	69.10	2.67
6 信和置業(00083)	13.90	2.36
7 キャセイ・ハンフック(00293)	11.92	1.53
8 華潤置地(01109)	24.75	1.02
9 ホンコン・チャイナガス(00003)	14.92	0.95
10 恒隆地産(00101)	19.16	0.84

▼値下がり

	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 中国神華能源(01088)	19.28	-5.02
2 瑞声科技(02018)	136.00	-4.29
3 中国人寿保険(02628)	24.10	-3.21
4 万洲国際(00288)	8.15	-3.09
5 AIAグループ(01299)	58.80	-2.81
6 ワーフ(00004)	72.50	-2.75
7 交通銀行(03328)	5.78	-2.53
8 香港証券取引所(00388)	210.00	-2.33
9 中国銀行(03988)	4.02	-2.19
10 中銀香港(02388)	38.40	-2.04

▼今週の主なイベント

- 9月12日(火) 【米国】アップルの新製品発表会
- 9月14日(木) 【中国】小売売上高、鉱工業生産(8月)、固定資産投資(1-8月)

▼今週の期待材料

- ◆米連邦債務の上限を一時的に撤廃する法律にトランプ米大統領が署名、懸案の米国債デフォルトを回避
- ◆10月に5年に1度の中国共産党大会を開催、開催日までは当局が相場の安定を図るとの期待が続く公算
- ◆9日発表の中国の物価統計はCPIとPPIがともに市場予想を上回る強い結果に、景気の先行き懸念が後退

▼今週の懸念材料

- ◆10月に朝鮮労働党創建72周年記念日、北朝鮮がさらなる挑発に出るとの警戒感がくすぶる公算
- ◆中国人民銀行の公開市場操作で先週は差し引き3300億円の資金を吸収、吸収超過は3週連続
- ◆12日にアップルが新製品の発表会を開催、期待裏切の内容なら関連銘柄が売られる可能性も

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ HSBC (00005) : ロンドン市場で連日の自社株買い、先週は計1300万株を取得
- ☆ 恒基兆業地産 (00012) : 香港不動産価格が高値推移、米利上げ観測後退も追い風に
- ☆ 越秀地産 (00123) : 8月の不動産販売額が39%増、販売面積が26%増と好調
- ☆ 中信資源控股 (01205) : 洲際油気との提携を発表、海外資産の買収などで事業協力
- ☆ 中国建築国際 (03311) : 1-8月の新規受注額は28%増加、通期目標の72%を達成
- ☆ 中国建材 (03323) : 中国中材 (01893) を株式交換で吸収合併する計画を発表
- ◇ 敏実集団 (00425) : 台湾店頭上場のアルミ合金部材メーカーに44%出資
- ◇ 瑞声科技 (02018) : アップルが12日に新製品発表会、発表後に利益確定売りも
- ★ テンセント (00700) : 馬会長が5-7日に200万株を売却、持ち株比率8.69%に低下
- ★ プラダ (01913) : 17年7月中間決算は18%減益、欧州や日本市場の不振響く

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。